活動スキル

みやぎ情報活用ノート

教材のねらい

「活動スキル」は、コンピュータや図書などの様々な情報手段を活用するための基礎的な知識・技能のことです。様々な教科・領域の学習において、児童生徒が情報を調べたり、コンピュータを使って編集したり、発信したりする活動を支えるスキルです。

新学習指導要領では、小学校の総則の中でコンピュータでの文字入力（タイピング）等の基本的な操作を身に付ける学習活動を計画的に実施するとされています。カメラの操作やウェブ検索も、活用機会が多いスキルです。だからこそ、いつ最初に指導し、その後、身に付けたスキルを活用する際には何を確認するのかを明確にしておきましょう。情報活用能力の中でも探究スキル、プログラミング、情報モラルの他の3領域の学習に対しても、活動スキルは基礎となります。適切に年間計画や学校の情報教育の計画に位置付け、習得状況を把握し、必要に応じて改善するカリキュラム・マネジメントを行うことが重要です。

本ワークシートでは、活動スキルの中でも特にICTの利用に関係する部分を取り上げました。学校に整備された、あるいはこれから整備されるICT環境を、児童生徒が存分に活用できるようにするヒントとしてご活用ください。どの教科・単元で使用していただいても構いませんし、児童生徒が身に付けたスキルを2度目、3度目と活用・発揮する際に、このワークシートでポイントを確かめても良いでしょう。

アドバイザー

東北学院大学教授　稲垣 忠

略歴

「文部科学省2020年代に向けた教育の情報化に関する懇談会」委員（座長代理）や、「同 次世代の教育情報化推進事業『情報教育の推進等に関する調査研究（IE-School）』」委員、「教育の情報化の手引き」作成委員(平成30年度)、経済産業省「未来の教室」実証事業教育コーチを務めるなど多数歴任。本教材では、活動スキル・探究スキルを担当。